

東部地区指定区域全域に
企業の進出が決定しました

企業誘致 推進中！

毛呂山町では、雇用や税収の確保を目的に、町の地域特性を生かしながら、企業に対して優遇制度を定めることで企業誘致に取り組んでいます。このたび、川角中学校南東の「東部地区指定区域」に、新たに3社の企業進出が決定しました。

問 役場企画財政課企画係 ☎ (295) 2112 内線 321



企業誘致とは

「企業誘致」とは、新たな雇用や税収を増やすなど地域経済の活性化を目的に、企業（特に工場など）を誘致することです。

町では、大字市場・川角地内および大字葛貫地内の2地区を、工業・流通系の企業立地を可能とする区域に指定しました。また、平成21年10月1日に「毛呂山町企業誘致促進条例」を制定し、要件に該当する企業の固定資産税相当額の2分の1を、10年間奨励金として交付する優遇制度を定め、企業誘致を推進してきました。

その結果、大字市場・川角地内の「東部地区指定区域」において新たに3社の企業進出が決定し、現在、移動に向けて工場の建設などが進められています。

企業を誘致するメリット

さて、優遇制度を定めてまで企業を誘致するメリットはあるのでしょうか。町にとっては、税収を増やすなど直接的な利点がありますが、そのほかにも、次のようなことが考えられます。

①事業所進出のための 設備投資が生まれる

企業の進出に必要な工場などの建設のため、建設業者や機械製造業者らが受注し、関連業者の仕事や売上が増加すると考えられます。



②地元での新規雇用が生まれる

毛呂山町内に事業所ができることで、新たな雇用も生まれます。通勤などのために従業員が町に転入したり、U・イターン就職にもつながり、人口流出や人口減少の抑止になると考えられます。



③地元生産者・企業に 新たな需要が生まれる

新たに企業が進出してきただけで、地元の原材料業者、運送業者、広告業者などへの需要が考えられます。





町に進出する 3社をご紹介します

「東部地区指定区域」に進出が決定した企業は、現在も指定区域の南側に工場を持つ「株式会社関越物産」、川越市から本社を移転する「株式会社木屋製作所」、岐阜県に本社がある「株式会社トーカイ」の3社です。

完成後は、町民の皆さんの雇用の機会が増えることや、固定資産税・法人住民税などの税収増を見込んでいます。



株式会社関越物産	株式会社木屋製作所	株式会社トーカイ
<p>本社▶東京都豊島区 事業内容▶こんにやく類製造業 予定従業員数▶約 250 人 ※既存従業員 200 人を含む。</p>	<p>本社▶埼玉県川越市 事業内容▶自動車（主にトラック）部品、農機具の製造 予定従業員数▶ 120 人</p>	<p>本社▶岐阜県岐阜市 事業内容▶病院向けリネンサプライなど 予定従業員数▶ 100 人以上（予定）</p>
<p>企業からのメッセージ▼ 現在、地区の南側に工場・物流センター・管理棟を有していますが、特に昭和 50 年に建設した第一工場が老朽化しており、今後当該エリアでの工場建築を予定しています。 毛呂山町で現在の工場の操業を開始して 40 年以上になりますが、当時は練馬⇄東松山間であった関越自動車道も現在は全国につながり、物流のアクセスも非常に良く、広域の事業展開を行うには適した地域だと思います。今後も毛呂山町を拠点に事業展開を継続・拡大する予定です。</p>	<p>企業からのメッセージ▼ 圏央道・関越道のインターが近く製品の輸送について利便性があることや、東武越生線川角駅から徒歩 10 分圏内にあり、社員の電車通勤が可能なことなどから進出を決めました。 毛呂山町は、柚子のイメージや、山が近く自然に恵まれているという印象ですが、一方で交通の便が良く、都心にもそう遠くありません。また、学校が多数あり、学園都市のような印象もあります。今後は、学校と共に企業も更に誘致していただき、人の交流がより盛んになることを希望しています。</p>	<p>企業からのメッセージ▼ リネンサプライ工場では洗濯水の確保が重要な条件の一つです。毛呂山町は豊富な水資源に恵まれていることに加えて、首都圏へのアクセスの良さや広大な敷地面積などが決め手となり、進出を決断しました。 弊社は創業以来 3R（リユース・リデュース・リサイクル）を中心とした“人と地球にやさしい事業活動”を心がけてきました。自然豊かな毛呂山町において、自然との共生・調和を目指した事業活動に努めてまいります。地域の皆さんと共に働くことができる日を、心待ちにしています。</p>